

3月になり、春がそこまでやって来ています。寒い冬はいつまでも続かない。明けない夜はない。どんなにきびしい冬であっても、春は巡ってくるのです。日本の四季に感謝し、これからやってくる春を待ちたいと思う。

昨年の今頃は日銀がマイナス金利のサプライズ実施を決行したが、日銀の意図したことにはならず真逆のことが起きている。マイナス金利の影響は大きいものがあるが、企業にまでマイナス金利を適用しなければ意図する効果は出ないと思われまます。550兆円にもなっている大企業の内部留保金を使わせるようにするには0.1%のマイナス金利でも取って、積極的な投資に使わすしか手がないのではないのでしょうか。大胆な政策はそこまで行かないと効果は生じない。金融政策だけではアベノミクスはアホノミクスと言われるだけであり、大きなインフラ整備の財政出動がしっかりと行われて、次の成長戦略にまで繋がらないとアベノミクスは失敗です。華々しくデビューした新3本の矢ももうひとつパッとしませんので、アベノミクスの非を認めて、次なる斬新な政策が求められている。

トランプ大統領の独断的な大統領令が炸裂しています。アメリカ国家を分断して、偏狭なナショナリズムが力をつけて来ていますので、世界がおかしくなっています。トランプ大統領に気に入られた安部総理には調子に乗らずにじっくりと対応して頂きたいと思う。ゴルフをしている最中に北朝鮮の中距離弾道ミサイル発射が行われた。タイミングの良いことこの上なしである。

又、マレーシアでは異母兄の金正男が毒殺された。捜査が進んでいないので真実が何か分からない状態で話をしていますが、近い人も含めて自分にとって目障りな人は暗殺をしていくのかと、世界を震撼させている。この状況になると韓国と同じようにTHAAD(サード)高高度ミサイル迎撃システムを配備する必要があります。(THAADにはAN/TPY-2という、発射位置にかかわらず敵のミサイル発射と同時に標的を探知するレーダーが搭載されている)この装置を韓国が導入したので中韓の関係がおかしくなって、朴大統領の退任まで引き起こした。日本国内においても国防費はいくら使っても良いとの雰囲気は充満してきそうです。アメリカの基幹産業である軍需産業は兵器需要の増加により、軍産複合体の利益増になり、ウハウハでしょうね。これで日本との貿易赤字も軍備拡張路線で解消することになるのです。

どこの国も軍備拡張に走りだしています。保護主義の行き着くところは自国ファーストが昂じて怖い話とならなければ良いと思っています。

3月になったとはいえまだまだ冷えてきますのでご自愛ください。